

優秀実践校、個人の紹介

(ア) 津市立南が丘中学校

「図書館便り」の発行（月1回程度）、学校図書館ボランティアを中心とした環境整備、生徒の読書活動に基づく川柳色紙教室、フェルト教室、写真教室を実施する等の学校全体の取組、図書委員会による読み聞かせ会、教師のお勧めの本等を紹介する特設コーナーの設置、子ども読書の日になんだ図書館利用目標の作成、ビブリオバトルの開催等の生徒主体による取組を行っています。

(イ) 四日市市立南中学校

10分間読書のための学級文庫の整備、読書に基づく1分間スピーチ、教科の学習に関連したブックトーク、調べ学習の支援等、第3学年による読み聞かせ会、ビブリオバトルの開催、多読者の表彰を行っています。また、「先生のお勧め本」コーナー等、図書支援員による特設コーナーを設置しています。

さらに、「読み聞かせ図書館」の設置、市立図書館の巡回貸出図書の活用等、市と連携し読書活動の推進に取り組んでいます。

(ウ) 県立昴学園高等学校

「朝の読書」を設定し、全学年で取り組んでいます。また、年に11回程度図書館だよりの配付及びHP掲載等を行い、図書館の使い方、新着図書を紹介、ビブリオバトル、各種コンテスト、夏休みイベント、クラス別貸出冊数、おすすめ本等の情報を発信しています。また、校内ビブリオバトルを年4回程度実施するとともに、校外大会への積極的な参加を促しています。

(エ) 木村由美子(個人)

平成5年以降3つのボランティアグループを設立し読み聞かせ活動に取り組んでいます。また、児童向けの児童文学を基にした展示やゲーム等の企画展を開催するとともに、鈴鹿市主催によるイベントで読み聞かせを行ったほか、市内において開催された読み聞かせ講座や、子ども読書推進に関わる講師を務めています。